


9

Word 2013のタッチ操作

タブレットやタッチ対応パソコンでは、ディスプレイを指で触っていろいろな操作ができます。新しいOfficeには、指で操作しやすいタッチモードが用意されています。

タッチモードを使用する

1 「タッチ」を選択

① クイックアクセラツールバーの  (タッチ/マウスモードの切り替え) をクリックする。




② 「タッチ」をクリックする。

2 タッチモードに切り替わる

タッチモードに切り替わり、ボタンの間隔が広がる。




タッチモードへの切り替え

タッチモードに切り替えるには、クイックアクセラツールバーの  (タッチ/マウスモードの切り替え) を使います。




クイックアクセラツールバーに が表示されていない場合

 (クイックアクセラツールバーのユーザー設定) → 「タッチ/マウスモードの切り替え」をクリックしてチェックを付けます。



マウスモードに切り替え

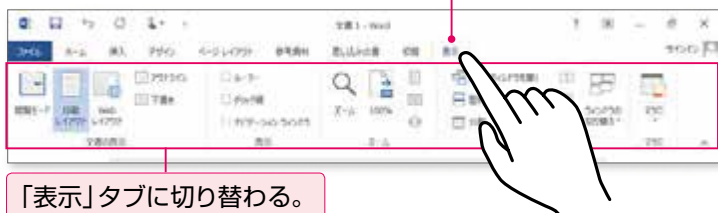
マウスで操作するときは、マウスモードに切り替えます。

クイックアクセラツールバーの  (タッチ/マウスモードの切り替え) → 「マウス」をクリックします。

タッチで操作する

1 タップ

「表示」タブを軽く押す。



「表示」タブに切り替わる。



画面に触れてWordを操作

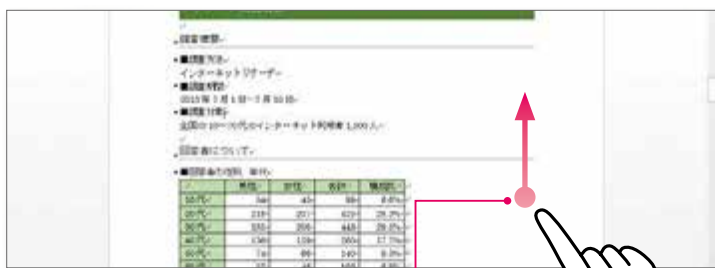
Word 2013では、タップ、スライド、スワイプ、ズーム、ドラッグを使用できます。



タップ

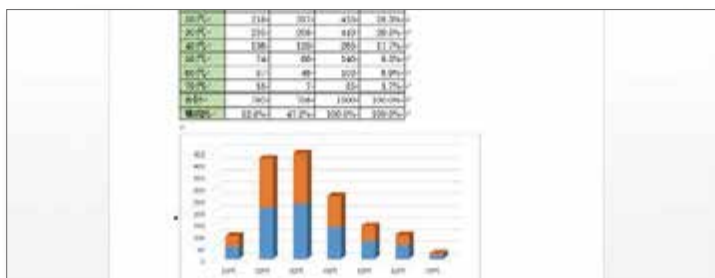
タップとは、項目を軽く押す操作です。コマンドを実行したり、一覧から項目を選択したりするときに使います。

2 スライド



文書の上で軽く払うように動かす。

文書がスクロールされる。



3 スワイプ



文書に指をしっかりと触れたまま動かす。

文書がスクロールされる。



i スライド

「スライド」とは、指を目的の方向へ軽く払うように動かす操作です。画面をスクロールするときに使います。

i スワイプ

「スワイプ」とは、指である部分からある部分までをなぞるように、しっかり動かす操作です。目的の場所まで文書をスクロールするときなどに使います。

i ズーム

「ズーム」とは、2本の指を使って、指と指の間を広げたり、狭めたりする操作です。文書の表示を拡大したり縮小したりするときなどに使います。



編集ウィンドウをズームする。

表示が拡大される。

